

2019年「認知症看護対応力向上研修」(大阪会場)報告書

開催日:2019年9月15日(日)・16日(月・祝)

会場:CIVI 北大阪研修センター 5階 Room507

受講者数:1日目30名、2日目30名

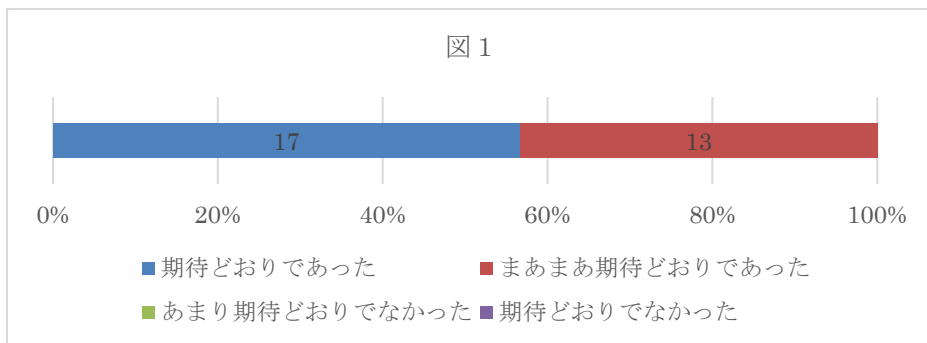
※会員:3名 非会員:27名、受講証明書付与30名

回答者:30名



I 研修会全体について

1. 研修の内容は期待どおりでしたか(図1)



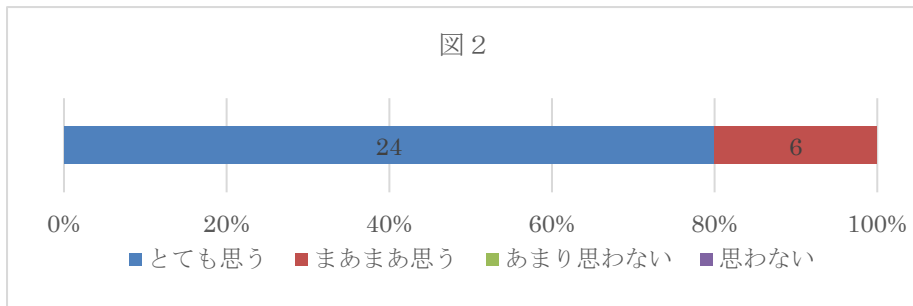
(理由)認知症の基礎知識から対応まで幅広く学ぶことができました。

演習などもあり、実際に病棟で起こりそうな状況を想像して看護を考えることができた。

あらためて認知症の患者さんの思いに目を向けなければならないという気づきがあった。

講師の方の講義内容が分かりやすかった。

2. 研修を受けて、自分の認知症看護の質改善・向上に活かしていきたいと思うか(図2)



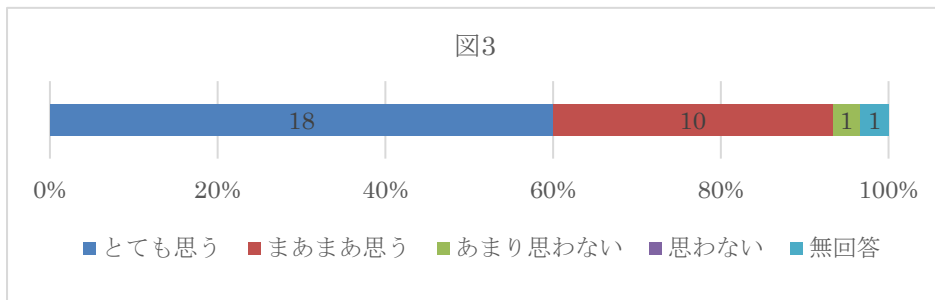
(理由)患者さんの言葉のみ表面しか見れていない自分に気づいた。

対応にとっても苦手意識があるから、知識を得たことで活かしていきたい

症状のアセスメントをきちんと行い抑制をしない看護を目指したい

アセスメントにとり入れたいと思いました。

3. 研修を受けて、病院・病棟の認知症看護の質改善・向上に活かしていきたいと思うか(図3)



(理由)急性期病棟での課題の解決に取り組みたい。

認知症看護について伝達講習を行い、チームで患者を見守り、支援していきたいと考えます。

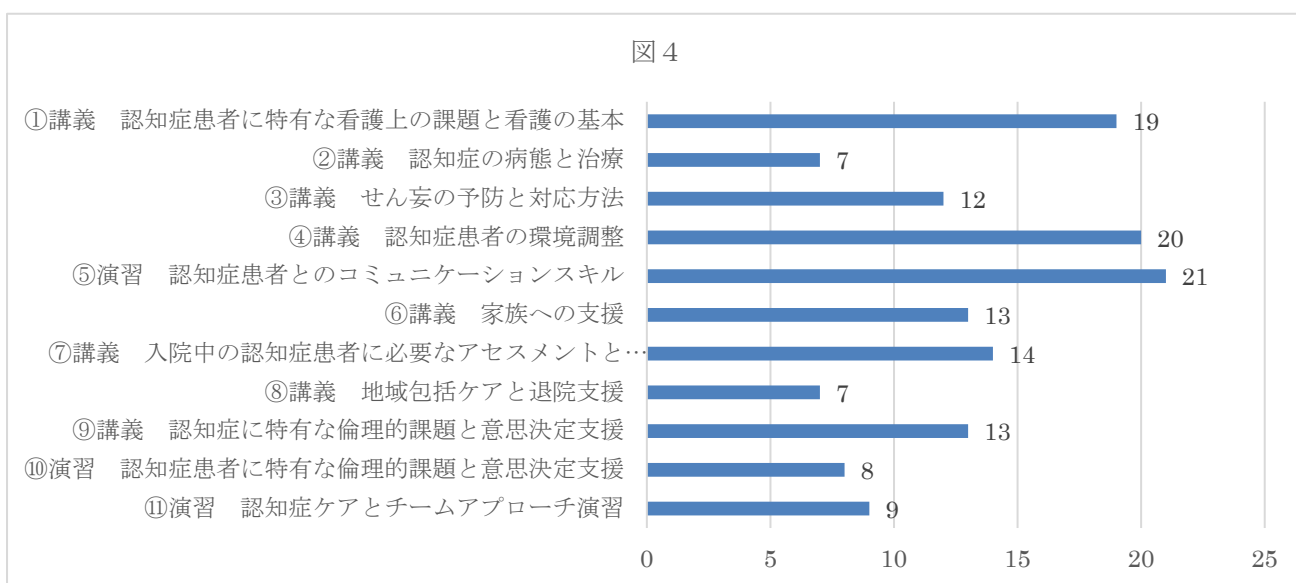
認知症ケアを提供できるスタッフ育成に今回の学びを活用します。

研修で学んだことを活かして、認知症患者さんの早期退院、患者の意思を尊重したケアができるようにしたい。

今回学んだことを病棟全体に広め、評価し、ケアの中に取り組んでいきたい。

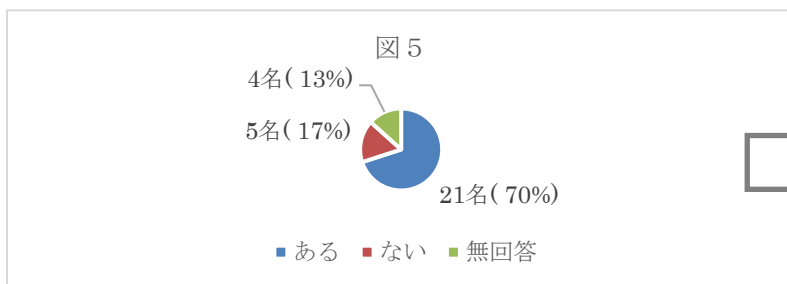
II 研修会の内容について

4. 講義・演習について特に自分にとって収穫があったと思うものに○をしてください。(複数回答可)(図4)



III 研修会後の病院・病棟での活用について

5. 研修会で学習した内容の病院・病棟での活用予定(図5)



「活用予定あり」の内容

病院・病棟報告会	36%
伝達講習会	44%
マニュアル作成	8%
看護計画立案	8%
その他	4%
(その他の内容)	
自分のケアの質向上	

・専従の看護師で他の加算をとっているため、認知症ケア加算の専任看護師にはなれませんが、日々、行っている看護ケアの中で、認知症看護、高齢者看護に関連した疑問や対応の方法を学びたくて参加しました。医療現場では「認知症看護」だけでなく、様々な看護の対象に認知症、高齢者が含まれていると感じます。この研修で学んだことを自分の分野で活かしたいと思います。

・年々、高齢者 90 代の OP があたり前になっています。もともと歩いていない、痛みの訴えがない、会話もかみ合わない頸部骨折の OP を何故するのか、認知症でも、痛みを訴えていなくても痛いですという先生の言葉にはっとさせられました。OP 室での認知症看護も今後深めていってほしいと思いました。

以上